



パワー

(電力・動力)

2001

春

株式会社 **ホンマ電機**
情報紙42号

発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市上鶴間1丁目11-1
電話 042(746)1616(代)
発行責任者 本間俊三

電気設備の省エネルギーと環境対策 ②

照明と空調

一九九七年に日本で開催された「地球温暖化防止京都会議」を契機に、日本国内では地球環境問題への関心が高まり、特にCO₂発生の抑制が焦点となりました。CO₂の発生はエネルギーの消費と関連が深く、環境対策に省エネルギーは不可欠の要件と考えられました。そこで一般的な事務所ビルの電力消費を見ると、平均して空調の消費電力は約五〇％、照明の消費電力は約三〇％、コンセントやエレベーター・換気などの消費電力は約二〇％といわれております。ここでは省エネルギーの空調設備・照明設備でどのような商品開発が進められたか、その一端を紹介いたします。

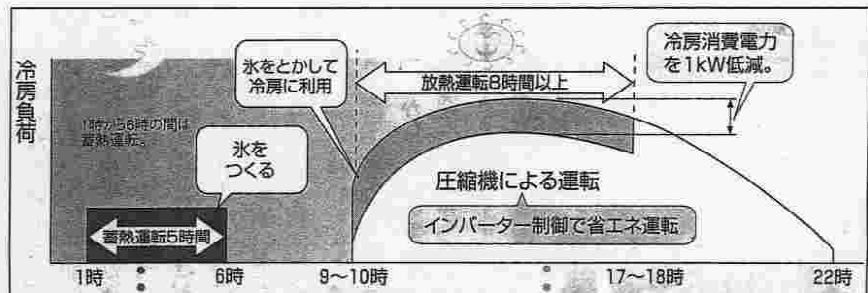
エアコンの省エネルギー策

蓄熱空調システム

この方式は、冷房を例にとると、夜間の電力消費の少ない時間帯に冷凍機を運転して、別に設けたタンクに氷を作ります。昼間の負荷の大きい時間帯にこの氷を使って冷房を行います。

省エネ型エアコンの開発

水蓄熱の採用によって、昼間の電力不足を解消し、9割の省エネルギーとCO₂削減による地球温暖化防止に貢献します。



蓄熱空調システム(消費電力を低減し、地球温暖化防止に貢献)

照明における省エネルギー

センサー付き照明器具

従来、オフィスの照明には、空間全体が明るいことが、快適というイメージをかもしだしていたように思います。照明エネルギーの削減が求められる今日、不要な照明をいかに消すかが課題となりました。

そこで、スイッチ区分の細分化、昼休みなどのタイマー利用による減灯・調光・制御などが採用されているが、最近、センサー付き照明器具の普及が目立つてきました。

効果のある用途としては、ホテルの廊下・エレベーターホール・トイレなど。また住宅では玄関や、ポーチなどの採用例もかなり多くなりました。

2001年 年頭あいさつ

代表取締役
本間俊三

二十一世紀を迎えて、一ヶ月が過ぎました。二〇〇〇年を迎えるとき比べ、新世紀を迎えるこの度は、皆さん比較的冷静であったような気がします。

カリフォルニアの停電に思う



二〇〇〇年問題のような世界的な話題がなかったからか。人々が時間に対していかなる反応を示すとも、時は正確で留まることはありません。こんなことを思っているうちに一ヶ月過ぎました。

このことと同時に、反対運動の高まる中、発電所建設と環境の保護という相反する課題の重要性も突きつけられたものと考えます。当社は創業以来、需要家の皆様に安全で停電のない電気供給の一端を担う企業として、さらには便利に使って戴くアドバイザーとして営業してまいりました。今後とも初心を忘れず励む所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



③⑧ 近況報告



十二月定例議会にて修正案を追及

議案第七五号相模原市情報公開条例に対して、共産党より修正案が提出されました。総務委員会においては可決されたものの、本会議で修正案が提出されたのは、数十年前ぶりとなりました。本間議員は修正案に対して、会派を代表して質問し、修正案の問題点や矛盾点をあぶり出し、大役を果たしました。修正案は否決され、原案は出席者総員で可決されました。



議会で質問する本間市議

新年会は満員御礼

恒例の新年会は、中和田自治会館で開催され、百人を超える支持者で埋まりました。会場の関係でこれ以上は入りきれず、やむを得ず毎年、近隣の支持者にしかご案内できないのが残念

です。一月二十一日の選挙で、二度目の当選を果たした小川勇夫相模原市長と、昨年、衆議院に初当選した中本たえいの両名も駆けつけ、楽しいひと時を過ごしました。



後列左から3人目、小川市長、本間市議、前列左、中本たえい衆議院議員



小川勇夫市長を囲んで

BUSINESS フィールド

スーパー！ たまや上郷店 省エネエアコンに入れ替え

このところ、エアコンの入れ替えに、電力消費の少ない機種を選ばれたお客様が増え、インシヤルコストが少々高くなると、ランニングコストを考慮に入れ決断された例を紹介いたします。

また、空調能力も十分で、騒音や振動も殆どなく、お買い物のお客様からは快適と、近隣からはとても静かだと、喜ばれています。



たまや上郷店



エアコンの入れ替え作業

電気工事店 変革へのチャレンジ



仕事の件数は、保守サービスが八割に達し、新設工事は一割程度。保守サービスを通じて、顧客とのつながりを深めることで、増設や改修の依頼が来るほか、新設工事も回ってくる。建築工事とは分離発注になり、下請けで工事するケースは数少ないという。

本間社長の信念は「電気工事は建設業でなくサービス業である」。かかりつけの電気屋として、お客さまに重宝がられることが重

要と強調する。こうした経営理念から生まれる受注手法も極めて独特なものだ。まず、いわゆる営業は一切行わない。創業当初は知り合いの電気主任技術者から、工場などの電気設備の保守工事を紹介してもらったが、その後は顧客との信頼関係を築くなかで、口コミで顧客層が広がっていった。多少とも営業的な活動といえは、年三回発行している「パワー」という情報紙。

24時間体制の保守サービス

工務店や建設会社の下請けという、これまでの電気工務店の枠とは違った形で業績を伸ばす会社がある。ホンマ電機は、二十四時間サービス体制を核に、電気、空調設備の保守で顧客層を

と、そのねらいを語る。保守サービスでは、一件の工費は数十万円程度。細かい仕事が多く、儲けも限られる。ただ、ホンマ電機の場合、受け付けから請求書の発行まで、無駄のない独自のシステムを構築しており、また、保守サービスの顧客が、増設や改修工事

質の向上をめざす企業活動

質の向上をめざす企業活動

創業当初から、お客さまの立場に立った仕事を目標に掲げてきた成果だが、断りきれないほど新設工事の発注があつたパブル期には、どちらを優先するか迷った時期もあつたという。

「夜も眠れないほど悩んだ」という本間社長に、保守サービスを選ばせたのは「困っている顧客に役立つ側面が大きいという事実」であり、そうした姿勢が、「かかりつけの電気屋」として現在につながっている。

● 企業ルポ

● お客様紹介 (41)



Country House St. MARIA GARDEN

営業日・時間
平日・祝日/AM10:00~PM6:30
日曜日/CLOSE

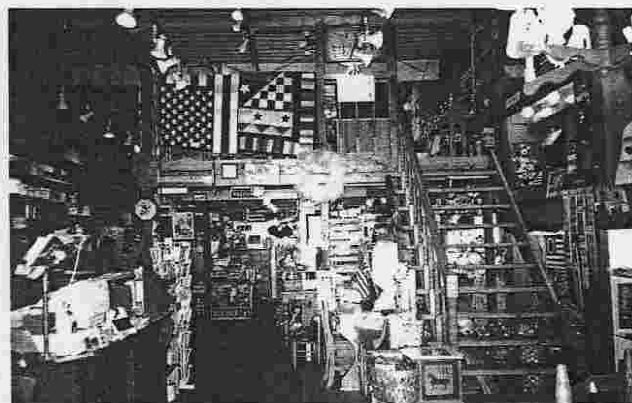


代表取締役
杉本 泰夫氏

本店
相模原市上鶴間862-1
☎ (042) 701-6250
FAX (042) 748-6201



楽しいセントマリアガーデンのエンタランス



手作り家具やしゃれた雑貨品でイッパイの店内

有限会社 セントマリアガーデン

- ・設立 1994年2月
- ・資本金 370万円
- ・年間売上高 1億7千万円 (平成12年度)
- ・従業員数 12名
- ・事業内容 アメリカンカントリーハウス2×4設計・施行・リフォーム、手作り家具、雑貨販売

セントマリアガーデンは「人と環境に優しい家具と住まいと塗料」の名目を掲げて、アメリカンカントリースタイルの中で、住環境を快適にすることを事業の柱に据えています。雑貨・家具・住宅をコーディネートして販売し、人の健康を土台にした本格的な家作り・家具作りが事業展開の目標です。

セントマリアガーデンの家具は、アメリカで200年以上も前から使われてきた家具の材料(パイン無垢材)を輸入し、日本の住環境に合

わせて注文を受け、職人が1台1台手作りします。「100年の年月にも耐えて味を保ちうる家具」をコンセプトに製作されています。そして高温多湿の日本の気候に合わせて、セントマリアガーデンが独自に開発した無公害の天然オイル塗装(エコ・ナチュラルオイル)とワックスで仕上げます。柔らかいパイン材は天然オイル塗装により木の内外からしっかり保護され、強化されて使い込むほどに味わい深い家具になります。

いま、内装材や化学合成塗料の発散する化学物質が、人体に悪影響を及ぼし、シックハウス症候群として大きな社会問題となっています。セントマリアガーデンでは1999年からその対応策として、安全性と環境に配慮したエコ・ナチュラルオイル塗装で家具を仕上げています。

同社には健康機器事業部もあり、

マイナスイオンによる空気浄化システムと健康製品を扱っています。店内には業務用の大型マイナスイオン空気浄化機器が稼働中です。中2階を含む売場面積は165㎡、その奥に231㎡の工場があり、職人たちが励んでいます。店内には輸入インテリア・カントリー雑貨・手作り家具が所狭しと並べられています。最近、オーダーキッチンや洗面台の注文が増えたとか。杉本社長は「当社の家具の良さを多くの人々に認識して戴きたい」とも。

ホンマ電機は同社の空調設備の工事とメンテを担当しています。



2階にはモデルルームとソファなど